

2024年・2025年のカリフォルニア産カルローズ米の 現地価格動向

米国現地価格（2024年実績・2025年現在）： カリフォルニア州で生産される中粒種「カルローズ米」の価格は、2023年に供給減少（干ばつ等）の影響で上昇しましたが、2024年産では生産持ち直しにより低下傾向にあります。USDAの予測によれば、**2023/24年度のカリフォルニア中短粒米の農場平均価格は1 cwt（約45.3kg）あたり約28ドルであったのが、2024/25年度には約22ドル/cwtと6ドルほど下落しています**^①。これは2019/20年以来の低水準とされ、現地供給の回復で価格が落ち着いたためです。また輸出価格の指標では、**2024年におけるカリフォルニア産中粒米（カルローズ）の平均輸出価格は1トンあたり約908ドルと報告されています**^②。この水準はドル円換算でおよそ12万円/トン前後（※1ドル=130～140円想定）に相当し、**1kgあたりでは約120～130円と算出できます**。

2025年前半の現地価格： 2025年に入ってもカリフォルニア産米の国際価格は比較的安定しており、中粒種の精米卸売価格は**100ポンド（約45kg）あたり38～43ドル前後で推移しています**^③。これは**1kgあたりに換算すると約0.84～0.95ドル（110～130円）程度**で、前年同時期と大きく変わらない水準です。現地では「中粒米の市況は弱含み～横ばい」と報じられており^④、2024年の生産増加や在庫増によってカルローズ米の供給は潤沢で、価格高騰はみられていません。

(参考) カリフォルニア産米は日本を含む国外へ輸出される主要品種です。米国政府の見通しでも、**2024/25年度の米国中短粒種米の輸出は前年度比11%増（2500万cwt：約113万トン）と拡大が予測されており**、これは米国産中短粒米の価格が前年より大幅に下がり国際競争力が増すことが背景にあります^⑤^①。つまり**2024年以降、米国内ではカルローズ米が値下がりし豊作基調であるため、輸出量も増えている状況です**。

日本への輸入時の価格とコスト内訳

日本のスーパー店頭に並ぶ米価格の例（右端が米国産カルローズ米5kg 2,980円の表示）。国産米5kgは3,500～4,300円前後と高騰する中、カルローズ米が割安な価格で販売されている^⑥^⑦。写真は2025年2月、都内店舗にて。

輸入米の割安感： 2024年以降、日本国内のコメ価格高騰と一部供給不足を背景に、**アメリカ産カルローズ米の輸入が増加しています**。日本のスーパー店頭では、国産米5kg袋が3,500～4,200円台に上昇する中、**カルローズ米5kg袋は3,000円前後で販売され、1袋あたり1,000円程度安い価格設定となっています**^⑦^⑧。例えば東京都内のある店舗では、コシヒカリやひとめぼれ等が**5kg税込4,309円**で並ぶ中、カルローズ米は**5kg税込3,218円（税抜2,980円）**と表示され、**国産米より約1,091円安い価格差でした**^⑨。このように**輸入カルローズ米は国産より2割以上安価**で提供されており、「コメ高騰の救世主」として家庭向け需要が急増しています^⑩^⑦。

価格構成の内訳： カリフォルニアから日本へカルローズ米（精米）を輸入する場合、価格には現地米価に加えて**輸送費・保険料・関税・港湾諸経費・国内流通コスト**が上乗せされます。以下は、想定される**1kgあたりコスト内訳の例**です（※為替レートや輸送条件により変動）。日本はWTO「ミニマムアクセス」枠外ではコメに高関税を課しているため、**関税がコストの大半を占めます**。

コスト項目	概算額（円/kg）
米国現地価格（CIF日本港）：米価・輸送・保険込	約150円前後 ¹¹ ¹²
関税（枠外一般輸入時）：341円/kgの従量税	341円 ¹¹ ¹²
通関・検疫・港湾取扱手数料：輸入時の諸経費	～10円程度
国内での精米調整・袋詰め・保管・配送コスト	～20円程度 ¹¹
輸入原価合計（消費税抜き）	約520円（/kgあたり）
消費税（軽減税率8%）※輸入時課税分	～40円 ¹³
総計（消費税含む輸入コスト）	約560円/kg

表： カルローズ米を関税枠外で商業輸入した場合の1kgあたりコスト試算。現地CIF価格150円/kgの場合の例 ¹⁴ ¹⁵。（実際の輸入では政府管理のSBS枠利用等で異なるコスト構成となる場合があります）

上記試算では、カルローズ米の日本到着時点の価格（CIF）を150円/kgと仮定しています ¹²。アメリカ国内価格は前述のとおり1kgあたり約120～130円ですが、これに海上輸送費や保険料を加えるとCIF価格で150円程度となるイメージです ¹¹。そこに関税341円/kgが加わることで、一気に約500円/kgに跳ね上がります ¹¹。さらに輸入時には消費税（軽減税率8%）が課税され、輸入原価の合計は概ね530円/kg前後（税抜）、消費税込では約560円/kgとなります ¹⁵ ¹⁶。この金額に国内での袋詰めや流通コスト、卸・小売マージンが加わったものが最終的な店頭価格となります。

関税・制度面のポイント： 日本のコメ輸入制度では、ミニマムアクセス枠内の国家貿易（MA米）とSBS（Simultaneous Buy & Sell）枠による輸入が主体ですが、2024年末以降の不足事態では関税を支払っての緊急民間輸入も行われています ¹⁷ ¹⁸。日本のコメ関税率は341円/kg（従量税）で、平時は「関税の壁」として機能してきました。しかし国内米価が5kg当たり3万円（60kgで3万円超、=500円/kg）を超える水準では関税を払っても輸入米の方が割安になるため、米卸大手が次々と民間輸入に踏み切っています ¹¹。実際、関西のある卸業者は2024年末にカルローズ米500トンの輸入契約を結び、主に外食業者向けに供給を開始しました ¹⁷。同社役員は「米国での米価は約150～160円/kgなので、関税を載せても国内米価より安い。関税341円を払っても採算が合う水準になった」と述べています ¹¹。こうした動きにより、輸入米の流通量は急増しており、2024年度（令和6年度）の主食用米の輸入量は前年度比で約20倍（見込み）にも達すると報じられています ¹⁹。

輸入コストと店頭価格： 上記の試算結果（約560円/kg）に小売流通マージン等を加味すると、店頭では600～650円/kg程度で販売可能と推定できます。実際、税抜598円/kg前後（=5kg2,990円程度）の価格設定が多く確認されています。たとえばイオンは2025年6月からカルローズ米「かるやか」を4kg2,680円（税抜）で発売すると発表しており ²⁰、税込価格4kg2,894円（=約724円/kg、税抜約670円/kg）で国産米より割安に販売する計画です ²¹。以上から、輸送コストや関税を含めてもカルローズ米は日本国内で国産米より安価に提供できる実情がうかがえます。

2025年後半～2026年にかけての価格見通し

現地（米国）の価格見通し： 供給面では、2024年に米国カリフォルニア州の水不足が解消されたことで稲作が回復し、2025年以降も米国産カルローズ米の供給は比較的安定する見通しです ¹。米国農務省も2024/25年度の米価は下落し輸出拡大を予測しており ⁵、この傾向が続けば2025年後半も現地価格は落ち着いた水準（\$20台/cwt前半）に留まる可能性が高いです。もっとも農産物価格には毎年の天候リスクが伴うため、もしカリフォルニアで干ばつが再発したり不作となれば、2025年末以降に現地米価が再上昇するリスクは否定できません。一方で平年並みの生産が続く限り、米国国内の在庫水準は高まりやすく、2026年頃まで米国

産中粒種米の価格は安定～緩やか上昇程度に収まるとの見方ができます（※足元ではシカゴ商品取引所のコメ先物価格も落ち着いた推移²²）。

日本への輸入価格見通し：日本国内の輸入カルローズ米価格は、**国内要因と国際要因の双方**によって左右されます。今後2025年下半期から2026年にかけて考慮すべき主な要因は以下の通りです。

- ・**国内の米需給と政策：**2023年産の不作や政府の生産調整策の影響で2024年前半に米不足・高騰が起きました²³。この反省から、**政府は備蓄米21万トンの放出（2025年3月）や生産調整見直し等の措置を進めています**²⁴。もし2025年産以降で**作付け増加や好天による豊作**が実現すれば、国内米価は下降に転じ、輸入米の価格優位性は小さくなるでしょう。現時点では政府介入により5月時点でコメ店頭価格が**18週ぶりに下落に転じた**との報道もあり¹⁰、2025年秋以降にかけて**徐々に国内米価が落ち着く可能性**があります。ただし国内価格の先行きについては専門家からも「高騰が落ち着くか不透明」との指摘があり²⁵、逼迫感が残る場合は引き続き輸入米需要が高いままとなるでしょう。
- ・**国際市場の動向：**世界的には**2023年にインドが米輸出を規制**した影響でインディカ米を中心に国際価格が上昇しました。カルローズ米はジャポニカ系統ですが、タイやベトナムのインディカ米高騰は一部代替需要を生み、中粒種市場にも波及する可能性があります。もっとも米国・豪州など主要ジャポニカ輸出国の供給が順調なうちは、中粒米の国際価格は落ち着くでしょう。仮に**インド等が輸出制限を緩和**したり新興国のコメ生産が増えれば、世界のコメ全般の価格が下がり、**カルローズ米の調達価格も低下**する見込みです。一方で地政学リスクや輸送費の高騰が起きた場合は、輸入コスト面から日本国内価格を押し上げる要因となります。
- ・**米国の輸出政策：**米国はコメ輸出に積極的であり、現時点で**輸出制限の兆しはありません**。むしろ日本市場へのカルローズ米拡販は米側も支援しており、2025年5月には駐日米国大使が「日本最大手スーパーが100%米国産米を全国販売するのは歴史的」と述べています²⁶。したがって**政策面では米国からの安定供給が期待**できるでしょう。ただし、仮にアメリカ国内でコメの需給逼迫が起これば（例えば他国からの需要集中や不作時）、輸出価格が上昇したり政府備蓄優先となる可能性はゼロではなく、その点は注意が必要です。
- ・**為替レート（円相場）の影響：**円安・円高の動向は輸入米価格を左右する重要な要因です。例えば1ドル=140円から120円へ円高が進めば、ドル建ての米価が同じでも円換算では約15%割安になり、カルローズ米の国内販売価格も下がる余地があります。逆に円安が進行し1ドル=150円超となれば、輸入コスト増で店頭価格上昇要因となり得ます。2024～2025年は円安基調でしたが、日米金利差などで変動しうるため、**為替リスクを織り込む必要**があります。

以上を踏まえると、**2025年後半～2026年前半にかけての日本国内におけるカルローズ米価格は、「国内米の収穫状況」と「為替動向」に大きく左右される**でしょう。ベースとなる米国側価格が安定している前提では、仮に日本でコメ不足が解消すれば**カルローズ米の需要は一服し、価格も現在の5kgあたり3,000円前後からやや下振れする可能性**があります。たとえば国産米が豊作で店頭価格が5kg=3,000円台に下がれば、カルローズ米もそれに合わせ**2,500円前後（1kgあたり500円）程度まで下がる**余地があります。一方、**2025年産米が不作で国内価格高止まり**となれば、当面は現在と同水準（5kg=3,000円台）の値付けが維持され、需要増に伴って**輸入数量がさらに拡大（2025年度は6万トン超の輸入見通し¹⁹）**するでしょう。その場合でも米国の供給力に余裕がある限り、大幅な輸入米価格高騰には繋がりにくいと考えられます。

日本国内におけるカルローズ米の販売価格事例

店頭販売価格の例（家庭用製品）：前述のとおり、カルローズ米は日本各地のスーパーや業務用ルートで流通が拡大しています。実際の販売価格事例をいくつか挙げます。

- ・**業務スーパー（首都圏，2025年2月）：**国産米が5kgあたり3,700～4,000円に高騰する中、**カリフォルニア産カルローズ米5kgが税込3,218円（税抜2,980円）**で販売²⁷。人気のため売り切れ店もあり、SNS等でも「思ったより美味しい」「家計が助かる」と話題²⁸。10kgの大容量パックで購入する消費者も登場²⁹。
- ・**スーパー各社のプライベートブランド（PB）：**大手イオンはPB商品「かるやか」として**カルローズ米100%使用の4kg袋を税込2,894円（税抜2,680円）**で発売開始^{20 21}。1kgあたり約673円（税抜）と、国産米に比べ約2割安。「コメ離れを防ぐ新たな選択肢」として全面展開されました¹⁰。他の量販店でも独自ブランドでカルローズ米を販売する動きがあります。
- ・**ネット通販・業務用販売：**Amazonや楽天市場では5kg～25kgの輸入米（カルローズ米）も購入可能です。価格は**概ね1kgあたり500～800円程度**で推移しており⁸、店頭価格と大きな差はありません（※通販は送料込みや小口販売の分やや割高）。業務用では外食チェーン「松屋」が2024年よりカルローズ米利用を拡大し、**2025年4月からは一部店舗で100%カルローズ米を採用**するなど³⁰、需要増に伴い安定供給が図られています。

イオンが2025年6月より発売した家庭用カルローズ米「かるやか」（4kg袋、カリフォルニア米100%使用）。税込2,894円（税抜2,680円）と国産品より割安で販売されている（写真：時事通信）²¹。カルローズ米は各種料理に使いやすく、家庭でも徐々に浸透しつつある。

消費者の評価と今後：実際にカルローズ米を食べた消費者からは「日本の米と遜色ない美味しさ」「香りや甘みも遜色なく、十分おいしい」との声が聞かれています³¹。食味は国産高級米（コシヒカリ等）に比べ若干あっさり・柔らかめとも評されますが、**価格を考えれば満足度は高い**ようです³²。こうした評価や価格メリットを背景に、一時的な不足対策に留まらず恒常的にカルローズ米が市場に定着する可能性も指摘されています³³。もっとも、日本のコメ市場は長年保護政策下にあり、将来的に国内米価が安定化すれば輸入米の存在感は再び限定的になるとの見方もあります。今後の国内収穫動向と政策次第ではありますが、**少なくとも2025年内はカルローズ米の価格優位と高い需要が続く**と予想されます。その間に消費者の抵抗感が薄れば、**2026年以降も家庭用米の選択肢の一つとしてカルローズ米が定着**するかもしれません³³。引き続き市場動向を注視する必要があるでしょう。

Sources:

- ・【5】 SoraNews24 (2025): With Japanese rice prices going crazy...^{6 23}
- ・【10】 FNNプライムオンライン (2025): イオンが米カリフォルニア産「カルローズ米」販売へ...^{10 26}
- ・【11】 ロケットニュース24 (2025): 米高騰で人気の輸入米「カルローズ米」ってどんな味？^{27 28}
- ・【16】 名阪食品 (2025): カルローズ米を徹底解説！⁸
- ・【19】 USDA Rice Outlook (2024): Season-Average Farm Price projections^{1 5}
- ・【22】 Statista (2024): Rice export prices by variety²
- ・【23】 Yahooニュース (TBSラジオ, 2025): 価格高騰のお米。安く買える「カルローズ」...^{24 7}
- ・【27】 JAcom 農協新聞 (2025): 米を民間輸入「関税払ってもペイする」^{11 34}
- ・【30】 HUNADE輸出入ガイド (2025): 米の輸入制度・原価計算例^{12 15}
- ・【40】 JAcom 農協新聞 (2025): 米の「民間輸入」急増 25年は6万トン超か¹⁹
- ・その他、米国AMS価格レポート【6】、東洋経済オンライン記事【36】等。

1 5 Rice Outlook: August 2024

https://downloads.usda.library.cornell.edu/usda-esmis/files/dn39x152w/3n205r92r/1r66kt16s/08_2024_AUGUST___RICE_OUTLOOK_REPORT.pdf

2 Rice export prices worldwide 2012-2024, by variety - Statista

<https://www.statista.com/statistics/255953/export-prices-for-selected-varieties-of-rice-since-2008/>

3 4 22 Weekly National Rice Summary - PDF

https://www.ams.usda.gov/mnreports/ams_1655.pdf

6 23 31 32 With Japanese rice prices going crazy, can California rice win over our Japanese taste-testers? | SoraNews24 -Japan News-

<https://soranews24.com/2025/02/17/with-japanese-rice-prices-going-crazy-can-california-rice-win-over-our-japanese-taste-testers/>

7 9 24 25 価格高騰のお米。安く買える「カルローズ」が想像以上に美味しかった！ - Yahoo! JAPAN

<https://article.yahoo.co.jp/detail/82144bb6fdab2e5f3cd844831616992f1d2a0471>

8 カルローズ米を徹底解説！管理栄養士が味や安全性を解説！ | クックリィ | (食と「食の仕事」情報サイト) -名阪食品

<https://cookry.meihan-shokuhin.co.jp/media/work/20250416>

10 20 26 イオンが米カリフォルニア産「カルローズ米」販売へ！4キロあたり2680円 6月上旬から全国グループ店舗で順次販売 | FNNプライムオンライン

<https://www.fnn.jp/articles/-/870862>

11 17 18 34 米を民間輸入 卸「関税払ってもペイする」 背景に深刻な不足感 | JAcom 農業協同組合新聞

<https://www.jacom.or.jp/kome/news/2025/01/250108-78742.php>

12 13 14 15 16 米の輸入制度を完全解説！関税・調整金・検疫・SBS制度のすべて | 【HUNADE】輸出入と国際輸送ガイド

<https://hunade.com/rice-import>

19 米の「民間輸入」急増 25年は6万トン超か 輸入依存には危うさ | JAcom 農業協同組合新聞

<https://www.jacom.or.jp/kome/news/2025/04/250430-81326.php>

21 30 33 日本の食卓にカリフォルニア産米は定着するか…コメ高騰で販売拡大する外国産米の実力 | 食品 | 東洋経済オンライン

<https://toyokeizai.net/articles/-/880781?display=b>

27 28 29 米高騰で人気の輸入米「カルローズ米」ってどんな味？食べてみた正直な感想 | ロケットニュース24

<https://rocketnews24.com/2025/02/13/2417114/>